

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

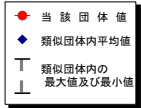
平成23年度

山梨県昭和町

経常収支比率の分析

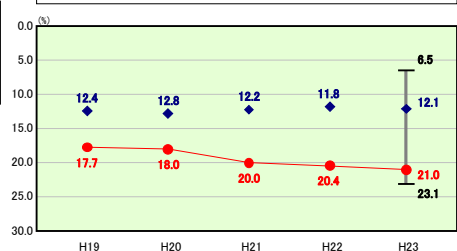
人口	17,742 人 (H24.3.31現在)
面積	9.14 km ²
歳入総額	7,679,791 千円
歳出総額	7,283,904 千円
実収支差	333,740 千円
標準財政規模	4,643,456 千円
地方債現在高	7,161,990 千円

実収支差	-	%
実収支差	-	%
実収支差	9.7	%
実収支差	60.2	%
市町村類型	H19 IV-2 H20 IV-2 H21 IV-2 H22 IV-2 H23 IV-2	



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

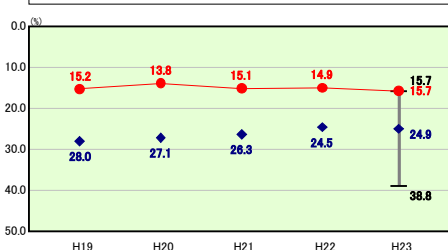
物件費



類似団体内順位 81/82 全国平均 13.1 山梨県平均 12.7

物件費の分析値
物件費に係る経常収支比率は類似団体内の平均を大きく上回り、年々増加している。総合行政の電算システムに係るリース・保守などの電算関係に係る経費の増加、温水プールなどの施設の維持関係に係る経費の増加、などである。今後は、事務事業全般の見直しなどによる経費の削減を行う必要がある。

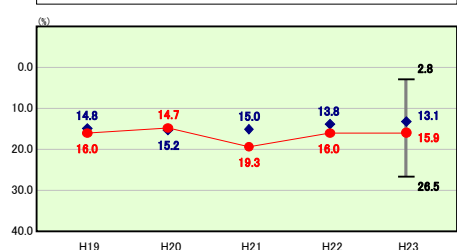
人件費



類似団体内順位 1/82 全国平均 25.4 山梨県平均 21.7

人件費の分析値
類似団体内において、人件費に係る経常収支比率は一番低くなっている。人件費及び人件費に準ずる費用についても平均を下回っているため、今後も健全性を維持していく。

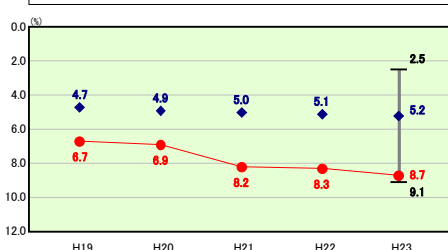
補助費等



類似団体内順位 60/82 全国平均 10.1 山梨県平均 13.4

補助費等の分析値
補助費に係る経常収支比率が類似団体内平均を上回っているのは補助金を出している事業や、団体への補助金が増加しているためである。補助金交付が適当であるかどうかなどについて明確な基準を設けて適切な補助金交付を行っていく。

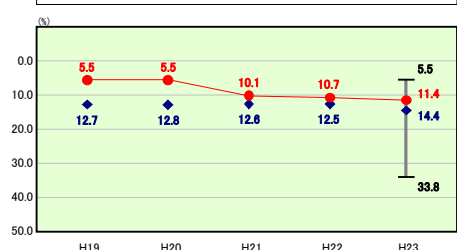
扶助費



類似団体内順位 80/82 全国平均 10.5 山梨県平均 7.3

扶助費の分析値
扶助費に係る経常収支比率は類似団体内でも高く、平均を大きく上回っている。これは、本町には公立保育園がないため、従来より私立保育園に多額の保育所運営費を措置しているためである。また、障害者介護給付費や子育て支援費など福祉関連経費も年々増加しており、今後も増加傾向にある。

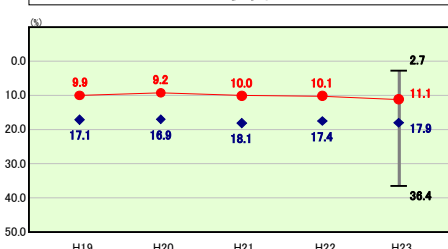
その他



類似団体内順位 15/82 全国平均 12.2 山梨県平均 11.1

その他の分析値
その他に係る経常収支比率は、類似団体内平均と比較すると下回っているが、下水道事業特別会計、介護保険特別会計などに係る繰出金が年々増加してきている。今後は特別会計等の事業を計画的に行い、繰出金を見直し健全化を維持していく。

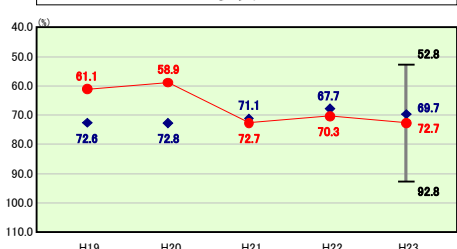
公債費



類似団体内順位 10/82 全国平均 19.0 山梨県平均 17.5

公債費の分析値
公債費に係る経常収支比率は類似団体内の平均と比較してみると低い比率となっている。公債費に準ずる費用は低下したが、公債費は、主要な大型事業を集中して行っており、新規地方債の発行も続けて行っているため年々増額となり、比率も今後上昇すると思われる。

公債費以外



類似団体内順位 55/82 全国平均 71.3 山梨県平均 66.2

公債費以外の分析値
公債費以外に係る経常収支比率は類似団体内平均と比較すると上回っている。これは、扶助費や補助費、物件費の増加、特別会計への繰出金の増加によるものである。事務事業を見直し、計画的に事業を行い経費の削減などに努める。